

交通安全対策事業

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発
イベント
運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

直轄事業

実施目的

広く県民に交通安全思想の普及徹底を図るとともに、「思いやり」と「ゆずりあい」の心を育て、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、安全で快適な環境づくりを推進し、悲惨な交通事故の防止を図る。

実施場所 県内全域

対象者 県民

開始年度 昭和37年

予算 1920 千円

実施内容

ア 内容

第12次愛媛県交通安全計画の目標値“交通事故による死者数33人以下、重傷者数400人以下”の達成に向けた交通安全対策の推進を基本方針とし、交通安全県民大会や安全・安心ふれ愛フェアの開催、無事故・無違反123コンテストの実施のほか、子ども・高齢者や歩行者の保護、自転車安全利用、飲酒運転撲滅等の各種交通安全対策を実施する。

イ 方法

各季、年末など期間を定めて行う「交通安全運動」、毎月10日の「高齢者交通安全日」及び「自転車安全利用の日」、毎月20日の「交通安全の日」のほか、

- 「創ろう！シルバーセーフティ愛媛」キャンペーン
- 「前見て！運転プロジェクト」
- 「大人も手を上げよう」運動
- 「グッドマナーサイクリストEHIME」キャンペーン
- 飲酒運転追放キャンペーン

等を展開し、広報活動や「人の輪作戦」による街頭活動等を通じ、交通安全対策を推進する。

URL <https://www.pref.ehime.jp/>

自転車安全利用推進事業

直轄事業

実施目的

自転車の安全な利用の促進に関する施策を総合的に推進し、安全かつ快適に利用するための意識啓発及び環境の整備並びに自転車利用者が関係する交通事故の抑止を図る。

実施場所 県内全域

対象者 県民

開始年度 昭和37年

予算 786 千円

実施内容

ア 愛媛県自転車安全利用研究検討会の開催

行政機関や関係団体で構成する検討会において、自転車の総合的かつ効果的な安全施策を協議し、自転車対策に反映させる。

イ 「シェア・ザ・ロード」の精神の普及啓発

自転車の側方通過時に安全間隔の1.5m運動」、自転車の車道走行を促す「走ろう！車道」運動等普及啓発を図る。

ウ 自転車損害保険等加入促進

県条例による自転車損害保険等加入義務化（R2.4）に伴い、加入促進を図る。

URL <https://www.pref.ehime.jp/>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

自転車ヘルメット着用推進事業

直轄事業

実施目的

高齢者による自転車乗車中の交通死亡事故の減少やヘルメット着用率の向上を図るため、ヘルメット未着用的高齢者に直接声掛けを実施し、ヘルメット着用の必要性を理解してもらうとともに、ヘルメット購入費用を補助することにより、高齢者のヘルメット着用を促進し、自転車死亡事故を抑止する。

また、企業単位でのヘルメット着用向上を図り、県民全体のヘルメット着用機運を高める。

実施場所

県内全域

対象者

県民

開始年度

令和7年

予算

2571 千円

実施内容

ア 自転車利用高齢者ヘルメット着用推進事業

(ア) 補助額

1人当たり3,000円(税込)を上限にヘルメット購入費補助

(イ) 実施期間

年間14回実施予定

(ウ) 補助対象

県内在住の65歳以上の高齢者

(エ) 実施場所

県下の高齢者自転車事故の約8割が集中する「7市町」

(オ) 事業実施方法

県が上記7市町の自転車販売業者の店舗にブースを設置し、ヘルメット未着用の高齢者に対する声掛けを実施してヘルメット着用の必要性を理解させ、自転車販売業者がヘルメットを販売、県が購入費補助に係る手続きを実施する。

イ 愛媛県自転車乗車用ヘルメット着用推進事業所等の拡充

自転車利用者のヘルメット着用100%や内規の制定などに取組む推進企業を拡充させ、企業単位でのヘルメット着用向上を図る。

URL

<https://www.pref.ehime.jp/>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他